

# 指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県男女共同参画センター	指定管理者	公益財団法人山形県生涯学習文化財団
所在地	山形市緑町1-2-36	県担当課	子育て推進部若者活躍・男女共同参画課
指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日	(電話番号)	023-630-3269
検証期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証		県(施設所管課)による評価・検証
<b>1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況</b>			
① 管理・運營業務の履行状況	○包括協定書、基準仕様書等に従い、事業計画を適正に執行することができた。	評 価	<<評価の理由>> 県民が利用しやすい施設の提供や、男女共同参画事業の実施、男女共同参画の推進について、仕様書に添った適切な管理・運営が行われた。 特に地域連携強化事業や女性の人材育成事業については、ネットワークが形成され、自発的活動が行われるなど功績が見られる。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	○登録団体の高齢化が進み、従来中心的に役割を担ってきた団体の参加状況が低下してきた。一方で、新たな団体・グループも参画するようになり、円滑な新陳代謝を進める必要がある。  ○イベントや会議等の開催地が山形市内中心のため、山形市以外、特に庄内地域の方々の参加状況が芳しくない。企画段階で、開催地を含め配慮していく必要がある。	評 価	<<課題等の原因分析>> ○中心的役割を担ってきた人材、団体・グループの高齢化が進む中、新たな人材等の育成にはある程度の期間を要するため、継続的に取り組むべき課題である。  ○市町村における男女共同参画に関する計画の策定にも地域格差が生じており、自治体の取組みにも温度差がある。
課題、問題点への今後の対応	○地域における男女共同参画推進を担う中心的人材、団体・グループの育成を引き続き行う。 ○市町村、関係機関・団体と一層連携を強め、県が委嘱している山形県男女共同参画推進員と連携した活動により、各地域のネットワークを拡大・強化していく取組みが必要である。		
<b>2 利用者からの要望等への対応</b>			
① 意見・要望等及びその対応状況	○アンケートや企画運営委員会での意見等を事業に反映させる仕組みを構築しているが、苦情に類するような意見等は特になかった。  ○男性相談の電話窓口が、終了時刻(21:00)より若干前に閉じてしまったことに対して苦情があった。委託先の「山形いのちの電話」と協議し、終了時刻前には閉じないように相談員に徹底した。	評 価	<<評価の理由>> 事業参加者アンケートにより、その後の企画運営に参加者の意見を反映させているほか、公募による委員からなる企画運営委員会を継続設置し、センター運営に県民からの意見を取り入れている。 例として、男性の意識啓発が必要ではないかという意見を踏まえ、男性セミナーのあり方を工夫して実施した結果、参加者全員に満足していただく結果となり、より多くの方に参加していくよう回数を増やした。
意見・要望等への今後の対応	県民サービスの更なる向上に向けて、引き続き、企画運営委員を各分野から選定し、効果的に活用するとともに、アンケートの実施等により利用者の意見・要望を把握し、適切な対応を図っていく。		
<b>3 指定管理者制度活用の効果</b>			
① サービスの向上	○ホームページ情報の適切な更新に努め、サイトアクセス件数の増加を図っている。特に、女性の起業等を支援するサイトを運営し、毎年一定数の新たなモデル事例を掲載し、女性のチャレンジの活性化を図った。  ○広報誌「チェリア」の発行に当たっては、外部から広報委員を公募し広く編集に関わっていただき、できるだけ県民目線の意見を取り入れるよう心がけている。	評 価	<<評価の理由>> ホームページを活用したオンタイムでの情報発信が実現している。また、併せて年3回発行される広報誌「チェリア」による情報発信や、男女共同参画週間におけるラジオによる広報活動など様々なツールによる広い世代への働きかけを行っている。 また、相談業務については、定員を超えた相談があった場合でも、専門家へつなぐなど利用者に寄り添ったサービスの提供に努めている。
② 経費の節減	○不要な照明の消灯や昼休みの事務室の節電、メール活用による電話代等の節減、用紙の裏紙利用など経費の節減に努めている。  ○登録団体への送付物についてはできる限りまとめるなど計画的な配布に努め、運搬経費の節減を図った。	評 価	<<評価の理由>> コピー用紙の縮減など各種経費の節減を図り、効果的な経費の活用に努めている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	○県内4地域ごとの男女共同参画を推進するため、チェリア塾修了生を中心としたネットワーク形成に積極的に取り組んだ。形成過程では地域の特性に応じてきめ細かく対応し、地域ごとに独自のネットワークが形成されつつある。	評 価	<<評価の理由>> 各地域の関係機関・団体・市町村に対し積極的に働きかけを行う等、熱心な取組みを継続的に行ってきた結果、地域ごとにネットワークが形成され、自発的活動の母体となるなど成果が見られる。
総合的な評価	県民参加・協働を重視したサービスの向上が図られ、効果的な事業運営が行われており、県と指定管理者が連携した適切な管理・運営が行われている。		

**【評価指標】**

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。